

## 農業水産試験研究設備近代化事業



本事業により調達された養殖実験機器（国立水産振興院）

### [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	3,300百万円 / 3,292百万円
借款契約調印	1984年8月
借款契約条件	金利4.75%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1989年8月

### [ 事業概要 ]

農業水産分野の試験研究機器の導入により、研究技術開発を促進し、農水産業の発展に寄与するもの。

### [ 評価結果 ]

本事業の計画当時、韓国の食糧自給率は大幅に低下する傾向にあったことから、生産構成の転換、品種改良等、生産性向上を促す試験研究の拡充を図ること、中でも養殖を始めとする生産技術の開発が求められていた。

本事業により、1989年に全国の農業研究機関35カ所及び水産研究機関16カ所に、それぞれ1,788点及び669点の研究機器が調達・供給され、その後これらの研究機関では、研究者の海外派遣等、自助努力の効果も合わせて、研究論文の成果や技術開発の実績が順調に増加している。

近年、韓国では農水産業人口が大幅に減少した一方、生産量はほぼ一定の水準を維持しているが、本事業が対象とした研究機関の活動も、このような農水産業の生産性向上に寄与したものと見られる。特に、水産業の主要研究分野のひとつであった養殖部門の生産量は大きく増加し、国内漁獲量の約4割強を占めるまでに成長した。

なお、本事業により調達された機器の大半は既に耐用年数を終え廃棄ないし更新されているが、各研究機関の自立発展性に問題は見られない。